



7月号

令和5年6月30日

横浜市立東中田小学校

校長 中島 早苗

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

学び続ける

校長 中島 早苗

毎朝、子どもたちを校門で迎えることが日課になっています。天候や曜日によって、日々、子どもたちの表情は変わります。暑い日も雨の日も、一生懸命に通ってくる子どもたち。この季節、雨の日に傘を握りしめ登校してくるときや暑い日に汗ばみながら登校してくるときはもちろんのこと、休み明けて何となく浮かない表情を浮かべているときには、「よく来たね。」「がんばって来たね。」とひとこと付け加えて迎え入れます。

子どもたちが一生懸命に通ってくる学校が、「楽しく」「面白い」学びを得られる場にするのは学校の責務です。学校生活の多くは授業が占めます。私が教員になり、日々の授業を行い、様々な授業を見たり、研修を積み重ねたりして数年後に得たことは授業の価値は一人ひとりの子どもの姿にこそあるということでした。子どもたちの日常生活から課題を見つけ、つくりあげた授業で、「楽しい」と目を輝かせて考え、取り組む子どもたちの姿を見ることができたときや、卒業した後に小学校での授業について手紙をもらったときのうれしさは、格別のものでした。子ども一人ひとりが一台のタブレットを持つことによって、学びの風景も方法も大きく変わりました。しかし、タブレットを使うことは目的ではなく手段であり、本質は変わりません。

今年度、本校では「『主体的に取り組む力』を育む授業」～児童自身が見通しをもち、学び続けるための支援のあり方～をテーマに校内研究に取り組むこととしました。教科は様々です。5月は特別支援について学ぶ講演会を行い、先日は第1回授業研究会を行いました。授業後の研究協議会では少人数グループに分かれ、授業で見られた子どもの姿について話し合い、グループで話し合った結果等は、タブレットを使い、ロイロノートですぐ共有しました。授業について語り合っている職員の話は尽きることがありませんでした。その後、講師の先生から指導を受けました。

「一人ひとりを大事にする。全ては児童理解から。充実した授業は児童理解があつてこそ。」研究協議会後の職員の振り返りの一部です。職員一同、切磋琢磨して授業改善に取り組んでいきます。

後、3週間ほどで夏季休業を迎えます。今年度、地域の行事も開催される予定です。ぜひ積極的に参加してほしいと思います。7月も引き続き、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

東中田小学校 学校教育目標

自ら かがやく、ともに かがやく